

「ため池」とは？

雨が少なく、山や川からの水に恵まれない地域で農業用水を確保するため、一時的に水を貯め、必要な時に水を使えるように、人工的に造られた池のことです。

長野県内には約1,880ヶ所、上伊那管内には110ヶ所(令和6年8月時点)のため池があり、古くは江戸時代以前に造られたものもあります。

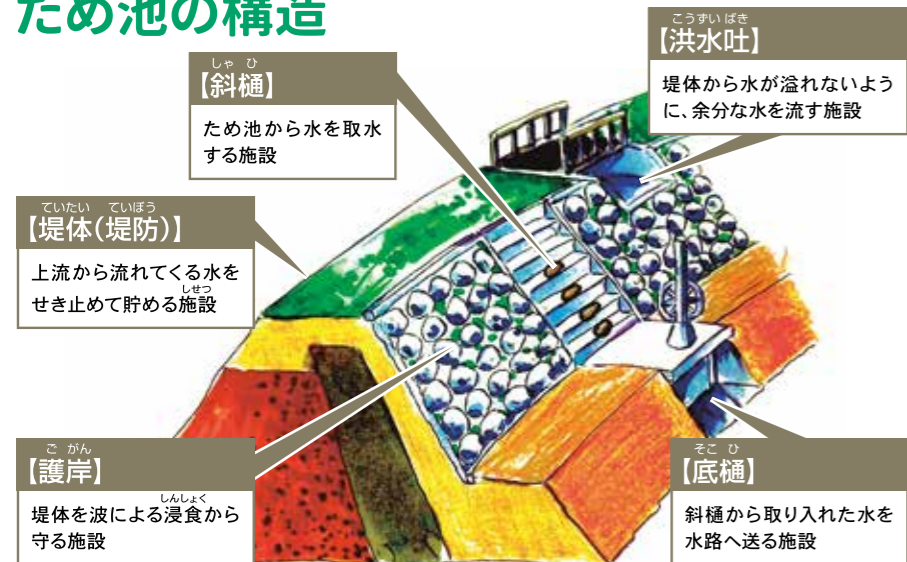


長野県PRキャラクター「アルクマ」 ©長野県アルクマ

ため池の役割

- 農業用水の貯留**
農業用水を一時的に貯め、必要に応じ補給します
- 洪水調節**
大雨が降った時に、雨水を一時的に貯め、洪水災害を防ぎます
- 土砂流出防止**
上流から流れ出る土砂や土石流を止め、土砂災害を防ぎます
- 生態系の保全**
水辺の昆虫や植物の生息・生育の場となっています
- 保健休養**
美しい風景として、地域の人々の憩いの場となっています

ため池の構造

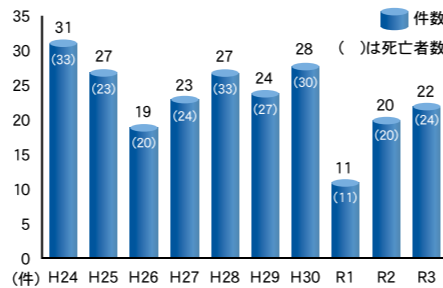


！ため池の危険を知ろう

ため池は、多様な役割や魅力を持つ一方、危険な面も持ち合わせています。農林水産省によると、毎年25件程度の事故が発生しています。また、事故は5月～9月の娯楽中(釣りや水遊び等)に多く発生しています。ため池を訪れる際は、「ため池ルール」を守って安全に楽しみましょう。

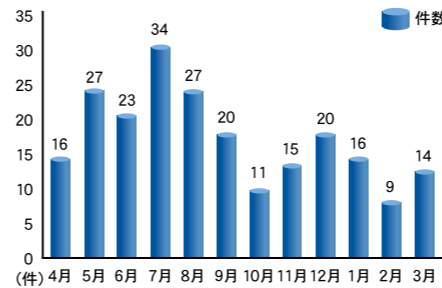
年度別の死亡事故発生件数

毎年平均25人前後が亡くなっています



月別の死亡事故発生件数

5月から9月にかけて事故が多くなっています



出典：農林水産省「ため池の転落事故防止のための安全対策について(令和4年5月)」

《守ろう！ため池ルール》

- 1 柵をのりこえない!**
ため池に落ちると絶対にはいあがれません
- 2 こどもだけで近づかない!**
必ず大人と一緒に行きましょう
- 3 こどもから目を離さない!**
危ないと感じたらすぐに声をかけましょう
- 4 万一事故が起こったら…**
大声でまわりに助けを求めましょう

上伊那農業資産フォトをシェアしよう!

上伊那地域振興局農地整備課では、あなたの撮った「ため池」、「棚田」などの素敵な農業資産フォトを募集しています。以下のハッシュタグを付けて、Instagramに投稿してください!

- ・#上伊那農業資産
- ・#kamiina_nogyoshisan

投稿された写真は上伊那地域振興局農地整備課公式アカウントにて紹介します。一緒に上伊那の農村を盛り上げていきましょう!



上伊那農業資産Instagram

- 写真提供
六道の堤：長野県美簗土地改良区
大沼湖、駒ヶ池：駒ヶ根市商工観光課
千人塚城ヶ池：飯島町地域創造課
たつの海：辰野町観光協会
- 発行：初版 第1刷 2023年8月
初版 第2刷 2024年11月
- 塩田平のため池群：長野県上田地域振興局農地整備課
御射鹿池：茅野市湖東笹原土地改良区
あやめ公園池：長野県木曾地域振興局農地整備課

上伊那のため池

— 地域の農業を支える水の歴史 —



中央アルプスが水面に映る千人塚城ヶ池(飯島町)

題字：堀越 壽崑 書



長野県上伊那地域振興局農地整備課
〒396-8666 長野県伊那市荒井3497
TEL: 0265-76-6816 FAX: 0265-76-6819
E-mail: kamichi-nochi@pref.nagano.lg.jp

上伊那の農業は、多くのため池によって支えられています

六道の堤 伊那市



管理者：美篤末広財産区・長野県美篤土地改良区 伊那市イメージキャラクター イーナちゃん



高遠藩主「内藤頼寧(ないとうよりやす)」が新たに田畑を開発するため、1851年、藤沢川から取水する約10kmの新しい水路「一番井」とともに築造したため池です。ため池の中にある枝振りの美しい赤松の大木は、2つのアルプスを背景に美しい風景を演出してくれます。春にはため池の周りの桜が咲き誇り、水面を彩る景色が楽しめます。

たつの海 辰野町



1969年、高低差が約600mある沢底川から汲み上げた水を、貯水により温めて水田に配水する「温水ため池」として造られました。春には、約800本の桜が咲き誇る中「荒神山さくら祭り」が開催されます。また、周辺一帯はスポーツ公園として整備され、白鳥のいる親水公園は、憩いの場として親しまれています。



2つのアルプスと天竜川からなる伊那谷は、扇状地や河岸段丘などの複雑な地形が多く、農業用水の確保に苦労してきました。こうした地域でお米をつくるため、古くから各地でため池が造られ、現在では110ヶ所(令和6年8月時点)のため池の水が上伊那地域の農地を潤しています。ここでは、その中でも特に歴史が深く、景観の美しい5ヶ所のため池をご紹介します。

大沼湖・駒ヶ池 駒ヶ根市



1951年、古い時代に山が崩落してできた窪地を利用し、中央アルプスから流れる冷たい水を温めて水田へ配水する「温水ため池」として造られました。春には福寿草や座禅草、水芭蕉がため池を彩り、秋には背景の山々の紅葉が鮮やかに染まる景色を楽しむことができます。また、かつては天然のスケートリンクとしても利用されていました。1959年、当時の発電工事と併せて、「温水ため池」として、また観光を目的に造られました。春には湖畔の桜、秋には紅葉を楽しむことができ、湖面に映し出される中央アルプスは、カメラマンに人気のスポットとなっています。また、毎年6月に池の周りで開かれる「くらふていあ社の市」は、多くの人で賑わっています。

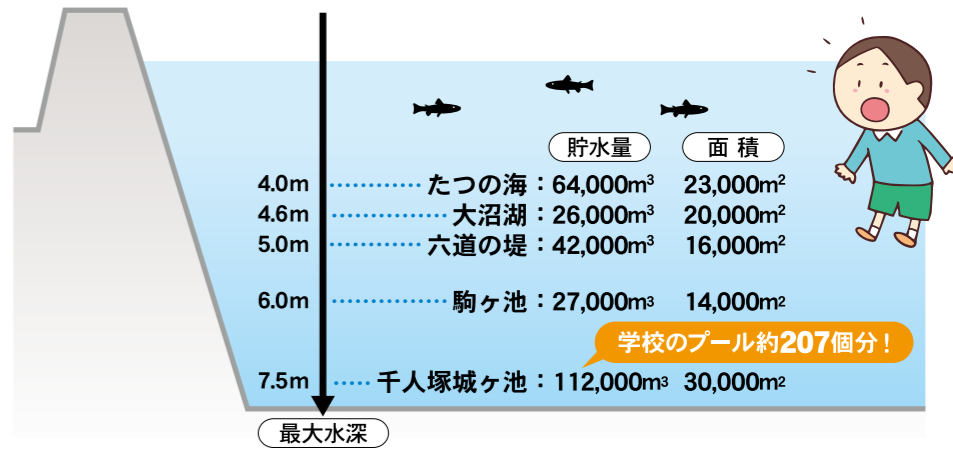
千人塚城ヶ池 飯島町



1582年、この地にあった北山城が、織田信長の軍勢に攻め込まれ、その戦で亡くなった多くの兵士を葬り、「塚」にしたと伝わっています。その後、昭和初期に城の空堀を利用して、ため池が造られました。中央アルプスを背景に、四季折々の花と景色を楽しむことができます。



どれくらい水を貯められるの？



「ため池百選」を知っていますか？

ため池は、農業用水を確保するほか、多様な生態系を育む水辺空間や、豊かな景観を形成しています。これらの多様な役割、歴史や保全の必要性を理解してもらうため、平成22年に農林水産省が全国100ヶ所を「ため池百選」として選定しました。たつの海、千人塚城ヶ池を含め、県内では5ヶ所(全国2位)が選定されています。



ため池百選 紹介パンフレット



塩田平のため池群(上田市) 御射鹿池(茅野市) あやめ公園池(木祖村)